

本校舎 中学部グループ

1 研究主題

ICT を活用した個々の学びと協働的な学びの充実を目指して

2 研究テーマ設定の理由

中学部には、本校が対象とする病弱（情緒含む）、肢体不自由、聴覚障がい、知的障がいの4障がいすべての障がい種の生徒が在籍している。さらに、学習グループやクラスの中でも実態は様々で、個々に抱える課題や必要な支援、指導の方法も異なる。

昨年度中学部には、GIGA スクール構想の一環として、一人1台の iPad と電子黒板が配置された。生徒たちは iPad を活用した学習に興味をもって取り組む様子がみられ、また、指導の際の視覚的な支援や情報共有、情報保障も容易になり、学部内でも情報機器の活用が進みつつある。また、集団での学習が難しい状況にある生徒に対しても、iPad や電子会議システム等を活用することで学習内容を共有し、仲間と意見を交換したり、同じ活動ができたしたりした。

そこで、ICT を活用することで、様々な実態の生徒たちが個々の力を伸ばし、且つ仲間と協働し、より深い学びを得ることができると考えこの主題を設定した。

3 推進計画

1 年次目の研究推進計画

月 日	研究活動	内 容
4 月 21 日	第 1 回全校研究会	
5 月 17 日	研究会①	研究の進め方について検討・確認 ICT 機器を使った実践の提案（6 例）
6 月 22 日	研究会②	研究内容の詳細について 「それ ICT でやってみませんか BOX」の設置 校内研究シートの確認 ICT 機器を使った実践の紹介（2 例）
9 月 22 日	研究会③	ICT 機器を使った実践の紹介（3 例）
11 月 17 日		iPad 事例研究会（1 例）
1 月 16 日	研究会④	ICT 機器を使った実践の紹介（3 例）
1 月 23 日	研究会⑤	中学部研究のまとめ
2 月 14 日	第 2 回全校研究会	中学部研究の発表、全校研究のまとめ

4 授業（研究）実践

研究の方法:たくさんの先生方の ICT を活用した学習活動の事例を紹介し合い、OJT 形式での事例研究とする。

(1) 「それ ICT でやってみませんか BOX」 設置

- ICT 機器を使ってみたいけどよくわからない
- ICT 機器を使った支援を検討したい
- ICT 機器でこんなことできないかな？

といった声をお寄せいただいた。研究部員が ICT 導入のお手伝いをさせていただくこととした。2 件の応募があった。

(2) ICT 機器を使った実践の紹介

①事例紹介（のべ 15 例）

校内研究シート（※2）とプレゼン資料を用意し、中学部内での ICT 機器使用実践事例をグループ研究会で紹介した。校内研究シートには以下の項目をまとめた。

- 生徒にこんな風になってもらいたい
- 生徒の実態（ICT を使うにあたって活用できそうな力、現在の課題など）
- 実践した授業・学習活動（使用した ICT 機器）
- 評価 * 「生徒にこんな風になってもらいたい」は叶えられましたか？
* 生徒の様子に変化は見られましたか
- その他（上記以外の成果や今後の課題など もしあれば）

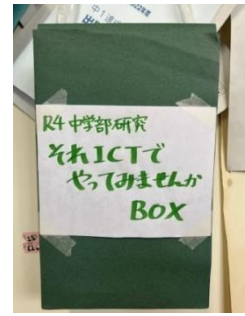
②研究会シートの記入

中学部研究会で紹介した事例について、研究会に参加した先生方から以下の項目について意見を募った。

- よかった点
- 参考になった点
- 私ならこう活用したい

③中学部研究のまとめ

研究会シートに寄せられた意見を共有する予定。



「それ ICT でやってみませんか BOX」

R4 中学部研究 「それ ICT でやってみませんか」

お名前 ()

お寄せの趣意でかまいませんので教えてください

対象の学年	年 月 日
ICT を活用したい授業・活動	
その他	
抱きたい目標・テーマ	
伸ばしたい生徒の力、支援したい生徒の活動 など (任意事項)	
いつ 取り組ましようと思っておりますか?	
あらかじめ 研究会に伝えておきたいこと など (任意事項)	

※この用紙はユニバーサルデザインフォントを使用しています。

それ ICT でやってみませんか
アンケート用紙

R4 校内研究シート (中学部)

担当者	
対象生徒	
活動場所	

生徒にこんな風になってもらいたい

生徒の実態 (ICT を使うにあたって活用できそうな力、現在の課題 など)

実践した授業・学習活動

使用した ICT 機器 ()

評価

* 「生徒にこんな風になってもらいたい」は叶えられましたか?

* 生徒の様子に変化は見られましたか?

その他 (上記以外の成果や今後の課題など もしあれば)

校内研究シート

R4 研究会シート

お名前 ()

1. 授業・学習活動

目的	
担当者	
対象生徒	
活動場所	

2. 研究会による評価

実践した授業・学習活動

使用した ICT 機器 ()

評価

* 「生徒にこんな風になってもらいたい」は叶えられましたか?

* 生徒の様子に変化は見られましたか?

3. ご意見ください

よかった点	
参考になった点	
私ならこう活用したい	

研究会シート

*紹介事例一覧（提案したものや重複しているものを含む）

5/17（6例）	Teams の利用、視線入力、Zen Brush（習字アプリ）、UD フォント、Google フォーム、QR コードの活用
6/22（2例）	DropTalk（Bluetooth スピーカー併用） Teams を使い、入院中の級友とテレビ電話
9/22（3例）	DropTalk（Bluetooth スピーカー併用） Zen Brush 2・3 を使ったメッセージカードや掲示物の作成
11/17（1例）	Zen Brush を使ったメッセージカードや掲示物の作成
1/16（4例）	DropNews、カラオケ、中継クイズ、はみがき

（3）学部研修会

「特別支援教育における ICT 活用 ～コミュニケーション支援を軸に～」

講師：長野県長野養護学校教諭 青木高光 氏

プロフィール 長野県特別支援学校 ICT 活用推進ブロックリーダー代表

（独）国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部 特任研究員

東京大学先端科学技術研究センター 協力研究員

Droplet Project 代表

講演内容：コミュニケーションシンボル開発の背景

学校や生活の中のシンボル活用

コミュニケーションに ICT を活用する実践例



現場で生きる ICT 活用実践事例について紹介していただくとともに、視覚支援の導入の基本についてもお話しいただいた。ICT を活用して多様な「手段」を準備することも大切な視点と教えていただいた。

5 実践のまとめ

（1）成果と課題

- 学部全体で ICT 活用の実践事例を共有することができた。
- 生徒の力を引き出すことができた事例も多かった。
- ICT 機器の活用をもっと多くのケースで広めていきたい。

（2）まとめ

学部全体で ICT 機器を使用した実践を共有することができ、事例をもとに ICT 機器を導入するケースもあった。発声が難しい生徒が音声で発表をしたり、手話とプレゼン操作を同時行ったりと、生徒が持っている力を発揮するための支援を、ICT の活用を通じて行うことができた。構造化や視覚支援といった面でも ICT を導入する余地がまだあると思われる。来年度以降さらに ICT 活用を広げていきたい。

R 4 校内研究シート（中学部）①DropTalk

担当者	諸富ゆたか、佐藤謙成
対象生徒	2D Aさん、1C2 Bさん
活動場面	学習成果発表会、宿泊学習結団式、校内実習結団式

生徒にこんな風になってもらいたい
発話の難しい生徒に VOCA (Voice Output Communication Aid) を通して、自分のタイミングで音声発表ができるようになってもらいたい。
生徒の実態 (ICT を使うにあたって活用できそうな力、現在の課題 など)
発話が難しく、発表の場面では教師の発声や簡単な手話で代替することが多かった。iPad 等のタッチパネルは使用することができる。
実践した授業・学習活動
使用した ICT 機器 (iPad アプリ : DropTalk) 学習成果発表会や宿泊学習・校内実習の結団式で発表する場面で利用した。
評価
* 「生徒にこんな風になってもらいたい」 は叶えられましたか？ 叶えられた。アプリ操作にも慣れ、自分のタイミングで音声発表に取り組むことができた。
* 生徒の様子に変化は見られましたか 嬉しそうにしている様子が見られた。発表に自分の力で取り組める部分が増えた。また、音声発表と同時に一部手話表現にもチャレンジすることができた。
その他 (上記以外の成果や今後の課題など もしあれば)



学部研究会での意見

～よかった点～

- ・本人一人で発表を簡潔させることができる。(生徒の意欲の向上につながる)
手話を使いたい生徒にとって便利。
- ・発話が難しい生徒でも発表ができる。2
- ・やっている本人が嬉しそうにやるのが何より。手話にも取り組んでいるので、どんどん挑戦していけそう。
- ・自分の力で、一人で発表している感があり、生徒の達成感にもつながると思った。
- ・自分で発表するという意識をもてた点。
- ・生徒の行動(ボタン・画面を押す)が音声の再生→発表になっているのがとても良いと感じた。
- ・発語がうまくできない生徒も「発表」を意識し、自分で表現する場が分かってきている。

～参考になった点～

- ・生徒が一人で発表することで得られる満足感を与えることができるのでいいなと思った。
- ・自分の力で発表に取り組めるようになったことで生徒が生き生きしていたこと。2
- ・音声を必要とする場面は必ずあるので…
- ・担任が吹き込んだ声より、機械的な音声の方を好んでいるのを見て、やはり「自分で」発表したいのだと再認識した。(ただの気まぐれかも…)
- ・生徒が「発表できた!」と思えるような工夫になっていた。

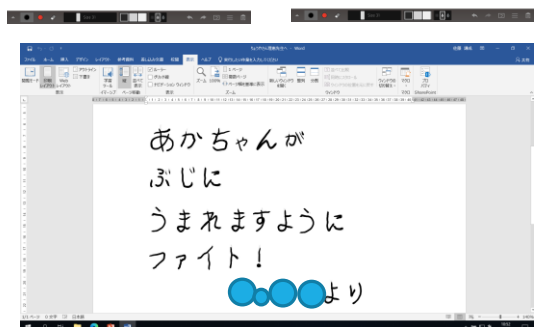
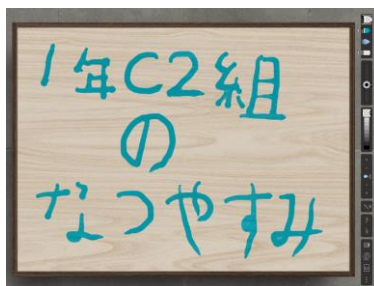
～私ならこう活用したい～

- ・「この人だれ?」(話の内容だけでそれがだれのことか当てる)みたいなゲーム性のあるものに生かせるのじゃないかと思った。
- ・ナレーション代わりにしてもらったり、架空の第三者(天の声のような)を作り出せる。
- ・(清明祭などの発表の場面で)発言・発表に活用できる。
- ・文章で一気にするときと、文節や単語に分けて、聞き取りやすくするかも
(話すときの切れ目を多めに)
- ・発表場面で緊張が見られる生徒の発表手段の1つとして提示したい。

R 4 校内研究シート（中学部）②Zen Brush

担当者	佐藤謙成
対象生徒	1C2 Cさん、Dさん
活動場面	生活単元学習

生徒にこんな風になってもらいたい
自分の筆跡で名前やメッセージカードを書けるようになってほしい。
生徒の実態（ICT を使うにあたって活用できそうな力、現在の課題 など）
iPad の操作には慣れており、タッチパネルは上手に使うことができる。 文字のなぞりに取り組むこともできる。
実践した授業・学習活動
使用した ICT 機器（ iPad・Zen Brush2・3 ） 母の日や父の日のメッセージカード作成、お休みに入る先生へのお手紙など、iPad とアプリを利用して作成した。自己紹介カードの記述にも活用した。
評価
* 「生徒にこんな風になってもらいたい」 は叶えられましたか？ 叶えられた。これまでは蛍光マーカーの下書き文字のなぞりには取り組んでいたが、下書きが目立ったり、大きさを変えられなかったりした。アプリを活用することでより本人の筆跡を生かした書字ができるようになった。
* 生徒の様子に変化は見られましたか 文字を書く手段が増えたことで、表現の幅を広げることができた。
その他（上記以外の成果や今後の課題など もしあれば）
急ぐときは蛍光マーカーのなぞりの方が有利。 ペンを持つことが難しい生徒に応用できる。



～良かった点～

- ・なぞりのあとを消すことができる。下書きが目立たない。 3
- ・間違えてもボタン一つでやり直すことができる。掲示物に生かせる。
- ・自力で書くことが難しい生徒に有効。
- ・書いた本人の筆跡として残ること（本人の意思が感じられる） 2
- ・書字が苦手な生徒が、字を書くことへの抵抗が少なくなった（と思う）。
- ・生徒が書いた成果物を次に活用できる点。編集が簡単な点。
- ・プリントだと文字の大きさがある程度限られてしまうが、1文字を大きく描けるのがよい。

～参考になった点～

- ・書いた文字をそのまま掲示物に生かせるのは、今後の掲示物づくりに役に立つと思った。
- ・文字の大きさを変えられること → 掲示物やものづくりで活用できる。
- ・生徒に適した大きさでできる。
- ・大きさを変えられるため、見出しにも活用できそう。
- ・字の大きさや背景を変えることで、幅広く活用できる点。
- ・下書きが目立たない点。クラスでも（心さん）使ってみたい。

～私ならこう活用したい～

- ・書く学習の際に、いつもは「^{ありがとう}〇〇〇〇〇」のように本人が一人で書けるように支援していたが、しっかり消しても支援した際に記入したものが残ってしまっていたので、このアプリを利用して誰から見ても自分一人で完結させた掲示物や手紙を作りたいと思った。
- ・行事のテーマなど、生徒の文字を使って作成するのも良いのでは。
- ・なぞり→見本書き→本書き 徐々に1人で書けるように拡げる。
書いた本人に字体を選ばせてみる。
- ・タッチペンを口にくわえてできないか…？（時間はかかる&本人の疲労度も気になりますが…）
- ・失敗を気にしなくていいので、書字の練習に使いたい。
- ・ひらがなを50音全部書いて色々組み合わせたい。「。」「,」「～」「一」なども。
- ・掲示物の作成。

Q. プリントアウトはどうやってやるのですか？

R 4 校内研究シート（中学部）③歴史新聞

担当者	佐藤謙成
対象生徒	1A Eさん
活動場面	社会科・学習成果発表会

生徒にこんな風になってもらいたい
<p>社会科・歴史の調べ学習で、自分で記事をまとめ歴史新聞を作成する。</p> <p>調べ学習と校外学習で学んだことについて、学習成果発表会において自分で発表に取り組むことができる。</p>
生徒の実態（ICTを使うにあたって活用できそうな力、現在の課題 など）
<p>ワープロのローマ字打ちに取り組むことができる。手話を交えた発表に取り組むことができる。フィンガープレゼンターを使ってスライドを進めることができる。</p>
実践した授業・学習活動
<p>使用した ICT 機器（ PC・Word、PowerPoint、フィンガープレゼンター ）</p> <p>校外学習で見学した中尊寺にちなみ、歴史の学習の中で調べ学習にも取り組んだ。調べた内容を「歴史新聞（中尊寺新聞）」にしてまとめ、掲示した。また、夏休み前の学習成果発表会で調べた内容や見学の感想を発表した。</p>
評価
<p>* 「生徒にこんな風になってもらいたい」 は叶えられましたか？</p> <p>叶えられた。授業で練習する時間を十分にはとれなかったが、自宅学習で手話と発話を練習し、自分の力で発表することができた。フィンガープレゼンターを使ってスライド操作に取り組むこともできた。</p> <p>* 生徒の様子に変化は見られましたか</p> <p>フィンガープレゼンターを使うことで、発話と同時に手話表現を行うことも可能になった。多様な表現方法で発表を行うことできた。</p>
その他（上記以外の成果や今後の課題など もしあれば）



学部研究会の意見

～良かった点～

- ・発表方法が様々あることを生徒が知ることができた。今後は自分で考える機も設定できる。
- ・Eさんの持っている力で最大限できることが可能になっており、勉強になった。
- ・プレゼンがスムーズに進み、動きも少ないので話をきくことに集中できる。
- ・フィンガープレゼンターを活用してみたい。
- ・PCに張り付かなくても良い点。手話も同時に使える点。
- ・PCに張り付く必要がなくなり、省けるところを省けて良い。
- ・発表の流れを一連すべて自分でできる達成感を味わえた。
- ・社会の学習と校外学習を関連させた内容。
- ・フィンガープレゼンターとても便利です！生徒が手話を使いながらプレゼンを進められるのはいいなと思った。どんどん使っていきたい。

～参考になった点～

- ・生徒が操作するという点が、意外に見たことがない光景だった。
- ・自信をもっていたので芹花さんにとってとても良い活用方法だった。
- ・手話をしながらスライド操作できるのは教師も生徒も活用できて良い。
- ・スライド操作と手話が同時にできる。
- ・生徒がつかえる機器を生かして取り組んでいる。
- ・フィンガープレゼンターを活用することで、教員の手間が省ける。
- ・1つの道具の利用でこんなに生徒の力を引き出せるのかとびっくりした。

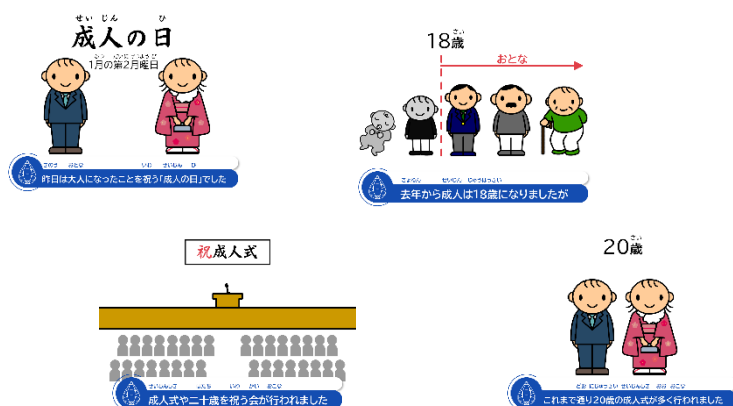
～私ならこう活用したい～

- ・Eさんの自立活動でPC（Word）を使った。操作もある程度できるようだし、何より本人が興味・意欲があると感じた。今後も活動の幅を広げてあげたい。
- ・集会などの場面。
- ・学部集会等でありがたく使わせていただきます。ありがとうございます。
- ・プレゼンを使うときに、フィンガープレゼンターを活用してみたい。生徒会行事など生徒も使ってみても良いのでは。
- ・一人でプレゼンをさせたい。生徒のプレゼンを導入した授業をどんどん取り入れていきたい。他の生徒にも活用してもらい、学部集会など自分でパワーポイントを進めながら会を進行させたい。生徒会の自立を図りたい。

R 4 校内研究シート（中学部）④DropNews

担当者	小野寺貴子
対象生徒	3C1・2
活動場面	朝の会（DropNews を使ってニュースを紹介）

生徒にこんな風になってもらいたい
<p>広く世間のニュースに触れることで興味の幅を広げてもらいたい。</p> <p>文章や言葉の読みが上手になってほしい。</p> <p>※漢字にふりがながふってあり、読みの練習にちょうど良い。</p>
生徒の実態（ICT を使うにあたって活用できそうな力、現在の課題 など）
<p>iPad をタップしてスライドを進めることができる。</p> <p>※はじめのうちは十分に興味を引き出せるまで教師が進めていたが、徐々に生徒の操作に移行する予定。</p>
実践した授業・学習活動
<p>使用した ICT 機器（ iPad、DropNews（メール配信）、テレビ ）</p> <p>朝の会で News を紹介した。メールで配信されるニュースのスライドを iPad→テレビに出力し、表示。教師が読み上げたものを一緒に確認した。</p>
評価
<p>*「生徒にこんな風になってもらいたい」は叶えられましたか？</p> <p>興味をもってニュースを聞き、理解することができたかどうか、三択のクイズなどで確認。クイズには楽しみながら取り組めた様子だった。教師も一緒に盛り上がるので、清明祭をきっかけに取り組みが中断しているが、再開したいと考えている。</p> <p>*生徒の様子に変化は見られましたか</p> <p>ニュースの内容を普段の雑談の中で取り上げることがあった。内容を覚えている生徒もおり、共通の話題作りになった。</p>
その他（上記以外の成果や今後の課題など もしあれば）



学部研究会での意見

～よかった点～

- ・ニュース（最近話題になっていること）に興味をもつ良い機会だと感じた。生徒の知識の幅が広がる（興味も）
- ・分かりやすいイラストや分掌のおかげで楽しく世の中の状況を学ぶことができるので良いと思った。
- ・DropNews は毎日配信されイラストもあって、知的障がいのある生徒にとって分かりやすく良いと思った。
- ・学級で共通の話題となっているのが良いなと思った。
- ・イラストもあり、分かりやすそうな内容で良いと思った。
- ・生徒が理解しやすい形で時事を取り上げている点。
- ・いろいろなニュースに触れることができ、生徒にとって良い経験になったと思う。
- ・将来のためにもニュースに関心をもつことができるのでとても良い。
- ・理解しているかチェックしている点。
- ・1月から本格的に使用を始めます。
- ・準備も時間がかからず、毎日内容が変わるニュースはとてもいいと思った。

～参考になった点～

- ・クイズ形式で内容を確認することで、意欲を引き出している点
- ・楽しく教養や知識を高めていけるのは良いなと思った。
- ・視覚的にニュースが示されていて、良いなと思った。
- ・ニュースを読むだけでなく、クイズで確認したところ。
- ・実態に合えば分かりやすく楽しくニュースを知ることができそう。時間の確保には余裕が必要そう。
- ・生徒が理解しやすい形で時事を取り上げている。
- ・ニュースの内容理解をクイズで行うと、楽しくて意欲が高まると思った。
- ・朝の会の有効的な使い方。
- ・やりっぱなしではなく、クイズを通じて生徒と教員双方が内容を理解し、楽しんでいる。

～私ならこう活用したい～

- ・コロナ関連や地域のイベントなど身近に感じられるニュースを使って実践してみたい。
- ・発表者を生徒から出すことができると思った。朝礼での役割として導入していきたい。ルーティーンとして導入したい。
- ・自分の学級でもやってみたい。（なかなかニュースなどに興味が広がらないので）
- ・慣れてきたら生徒自身が興味を持ったニュースを日替わりで順番に発表する。
- ・最近生徒にも iPad の操作をお願いし、ニュースを読むこともやってもらっている。
- ・国語の授業において、ニュースを見る→内容を簡潔にまとめるといった活動やアナウンサーになりきって原稿を読むなどもできそうだなと思った。
- ・今までと違って、新聞を読ませるだけでなく、このような方法もやってみたい。
- ・生徒が慣れてきたら、生徒自身が興味ある事、気になる事、調べる事を引き出したいです。機器操作も生徒達の手でできると良いです。

R 4 校内研究シート（中学部）⑤カラオケ

担当者	今野遼
対象生徒	2C2 Fさん、Gさん
活動場面	学級

生徒にこんな風になってもらいたい

2C2 の生徒は二人とも好きな歌をよく聞いたり、口ずさんだりする様子があり、カラオケを楽しむ芽生えは見られていた。同学年の他クラスの生徒はカラオケが好きで上手に取り組むことができるので、学年全体の活動として行うカラオケに積極的に参加し、一緒に楽しむことができれば、集団参加の力を高めたり、余暇の過ごし方を広げたりすることができるのではないか。

生徒の実態（ICT を使うにあたって活用できそうな力、現在の課題 など）

（Fさん）電子黒板に映る歌詞を見ながら歌うことができる。

（Gさん）電子黒板の映像や音声を手掛かりに歌を口ずさむことができる。

※二人ともマイクを持って歌うことができる。

実践した授業・学習活動

使用した ICT 機器（ iPad、電子黒板、Bluetooth スピーカー ）

学年のみんなで楽しむカラオケに向け、どんな歌が好きか、歌えるか探った。普段口ずさむ歌や好きそうな歌のカラオケを流し、歌う様子や反応を見た。

評価

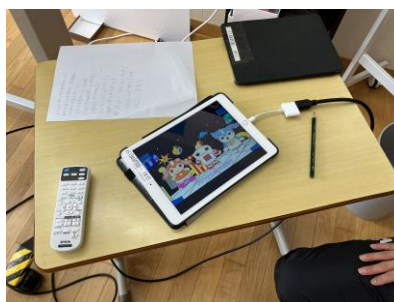
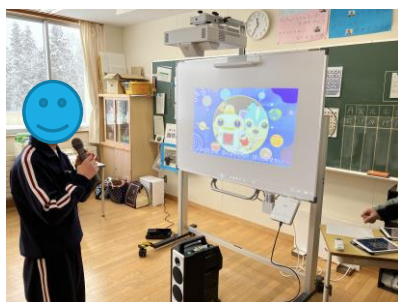
* 「生徒にこんな風になってもらいたい」は叶えられましたか？

知っている歌であれば歌うというわけではないことが分かった。知っている一般的な童謡は反応が薄い。一方、Eテレやこどもちゃんれんじで良く見聞きする歌は好んで歌うことが分かった。学年での活動や余暇の選択肢としてのカラオケに繋げることができた。

* 生徒の様子に変化は見られましたか

カラオケに合わせて歌を口ずさんでいた。カラオケを楽しむことができることが分かった。

その他（上記以外の成果や今後の課題など もしあれば）



学部研究会での意見

～よかった点～

- ・マイクを使うことで臨場感が出るので良いと思った。
- ・将来卒業後の余暇活動につながる気づきがあったこと。
- ・カラオケ（みんなが好きな取り組み）を楽しめる仕組みがあって良かった。
大画面で活動画を映すことで回りの生徒も楽しめると思った。
- ・自分で iPad から歌いたい曲を本人たちが選べるようになり、楽しく取り組めたところ。
- ・生徒たちの好きな曲やマイクをもって歌う等、実態把握ができて良かった。
- ・生徒の興味に沿いながら楽しみを広げているところ。
- ・いろいろな歌を映像付きで流すことができ、生徒の反応を確認しやすかったこと。
- ・余暇活動につながり、みんなで楽しむことができる。
- ・生徒たちができること、連続・継続していくなかでは、気づかない事も見えてきそうです。

～参考になった点～

- ・普段の様子観察からカラオケがという活動ができるのではないかと発展させたところ。
- ・実際にマイクを使ってスピーカーから音を出すことで本格的なカラオケをすることができる。

生徒のモチベーションもアップ！！

- ・臨場感のある雰囲気作り。
- ・担当クラスでもカラオケが好きな生徒がいるので、場面に応じて使ってみたい。
- ・知っている歌と歌いたい歌は同じではないということに気づき、なるほどなと思った。

～私ならこう活用したい～

- ・「歌う」という活動に緊張してしまう生徒がいるため、余暇的なカラオケで慣れさせたい。
- ・電子黒板に2つの iPad をつないで遠隔でライブができれば楽しそう。人前で歌うことができない人も歌声を披露できていいかもと思った。（できるかどうかは分からないが）
- ・カラオケ大会
- ・機会があれば同じように活用してみたい。
- ・音楽の時間や効果もしっかり歌えるようにしたい。
- ・自己選択、自己決定に大切に使用できそうです。

R 4 校内研究シート（中学部）⑥中継クイズ

担当者	佐藤謙成
対象生徒	1C1・2 全員
活動場面	お楽しみ会

生徒にこんな風になってもらいたい
自分たちで考えたお楽しみ会の出し物を実現したい！（中継先からクイズを出す）
生徒の実態（ICT を使うにあたって活用できそうな力、現在の課題 など）
生徒自身が中継を行うため、直接 ICT 機器の操作を行うわけではないが、中継する人とのやり取りや交渉を自分たちで行う必要があった。自発的にコミュニケーションを取ってやりとりや交渉を行うことは難しいが、あらかじめ話す内容等を決め、原稿を準備すると取り組むことができる。
実践した授業・学習活動
使用した ICT 機器（iPad：Teams・DropTalk、Bluetooth スピーカー、電子黒板、PowerPoint、フィンガープレゼンター） Teams を使って中継先と体育館を繋ぎ、「じゃじゃじゃ TV」を模して中継先にまつわる人物からクイズを出題。体育館にいる生徒に答えてもらった。
評価
* 「生徒にこんな風になってもらいたい」は叶えられましたか？ 叶えられた。出し物を可能な限り生徒の力で進めることができた。中継だけでなく、司会進行も iPad のドロップトークを活用して取り組んだ。
* 生徒の様子に変化は見られましたか 自分たちで決めた出し物の実現に向け、出演交渉を行ったり、問題フリップや解答フリップを作ったり、中継の練習をしたり、前向きに準備に取り組む姿が見られた。
その他（上記以外の成果や今後の課題など もしあれば）



学部研究会での意見

～よかった点～

- ・スピーカーをうまく使って Teams で拾った音を明瞭にする工夫がなされていて良かった。様々な ICT 機器を組み合わせられてとても勉強になった。
- ・リモートの取り組みで、人前での発表が苦手な生徒も堂々と練習・発表ができた。
- ・会議で Teams を使うという発想しかなかったのが、参考になった。
- ・生徒のやりたい気持ちを引き出し、形にしている。
- ・公開収録のような感じで臨場感があった。
- ・お楽しみ会の発表でも生徒たちが楽しそうに取り組む様子が伝わって良かった。
- ・集団に入りにくい生徒も参加できる。
- ・生徒が楽しそうだった。前向きに準備している姿がとても良かったと思った。
- ・生徒たちが意欲的に活動に取り組むことができた点。
- ・生徒の力で発表できたこと。Eさんも楽しそうに参加していた。
- ・リモートで授業、活動に参加できることで活動の幅が広がる。

～参考になった点～

- ・可能な限り生徒の力でというところが根幹にあり、自分もいろいろと取り入れていきたい。
- ・Teams をつなぐことで、画面に向けて話したことが大人数の前での発表になること。
- ・Teams の使い方
- ・TV番組の中継風にすることで、生徒が楽しく活動していた。
- ・私にはなかったアイデアだったので参考になりました。
- ・中継クイズというアイデアがなるほどなと思った。
- ・ドロップトークの活用法

～私ならこう活用したい～

- ・まずは真似できるように頑張りたい
- ・フィンガープレゼンターを使ってみたい。DropTalk は前にうまく使えなくて足が遠のいてしまっていた。
- ・集団への参加が難しい生徒への対応。緊張が強い生徒への対応。
- ・苦手分野なので、なかなか思い浮かびませんが、授業の何気ない場面で Teams を使ってみたい。
- ・生中継するというのは、生徒も意欲的に取り組み、集団に入れない生徒の授業参加等、他の場面でも使えるかと思った。
- ・（今までもしていますが）集団に入ることが難しいお子さんへ使いたいと改めて思った。
- ・機会があれば同じように活用してみたい。
- ・もっと自分もできるようにしたい…
- ・iPad を通信手段として活用していけば、自己表現にもつながりそうです。誰と通信するのか？も大切なかもしれません。

R 4 校内研究シート（中学部）⑦はみがき

担当者	今野遼
対象生徒	2C2 Fさん、Gさん
活動場面	学級
生徒にこんな風になってもらいたい	
<p>Fさんは、手順表を見ながら歯みがきをすることができるが、意欲が低く、頻繁に声掛けが必要である。長い時には15分くらいかかり、昼休みの時間がほとんどない。そのため、歯みがきをする時間が短くなってほしい。そして昼休みの時間を増やしたい。</p>	
生徒の実態（ICTを使うにあたって活用できそうな力、現在の課題 など）	
<ul style="list-style-type: none"> ・めくりの手順表を見ながら歯みがきをすることができる。 ・歯みがきをする意欲が低く、声掛けをしないと歯ブラシを動かしたり、手順表をめくったりしないことが多い。 	
実践した授業・学習活動	
<p>昼食後の歯みがき指導の際に、教師が作成した動画を iPad で見せながら取り組みを行った。動画は教師が20までの掛け声の音声が入っており、その掛け声に合わせて海翔さんが好きなEテレの3種類のキャラクターの画像が切り替わりながら表示される。動画を見ながら歯みがきをすることで、歯みがきをする意欲を高め、自分から歯ブラシを動かすことができるようになり、掛かる時間が短くなるように指導を行った。</p>	
評価	
<p>* 「生徒にこんな風になってもらいたい」は叶えられましたか？</p> <p>指導開始から動画への興味が強く、画面をよく見ていた。それに伴い、音声に合わせて歯ブラシを動かすことができるようになった。慣れてくると声掛けがなくても動画が終わると自分で手順表をめくり、再び動画を再生して磨くことができるようになった。取り組みを行ってから歯みがきに掛かる時間と声掛けの頻度を大幅に減らすことができた。昼休みには、行きたい教室を選んで過ごすことができるようになった。</p>	
その他（上記以外の成果や今後の課題など もしあれば）	



学部研究会での意見

～よかった点～

- ・生徒の好きなものに教員の声を組み合わせて、指導の効果を上げていて良かった。
- ・本人が興味をもてるような動画を活動に入れていて良かった。
スタートを押す → 磨く → スタートを押す …という流れが手順として分かりやすく、一人でできるようにしていたのが良かった。
- ・教師の声掛けが ICT で代替できている点。
- ・生徒の興味があるキャラクターを使っている事。
- ・動画の活用により、一人で歯みがきに取り組めるようになったこと。
- ・楽しく歯みがきできている。
- ・興味のあるキャラクターを使うことで意欲的に取り組むことができ、パターン化もできたところ。
- ・生徒も楽しそうに歯みがきできているので良かった。
- ・教師の声掛けが減り、自分から歯みがきに取り組めるようになってきた点。
- ・自発的に歯みがきに取り組むようになり、教員の負担が減ったこと。
- ・見逃しそうな歯みがき指導のことも生徒に合った指導をしていて素晴らしい。
- ・生徒の興味ある題材を自作教材に取り入れ進んで活動できるようになっている。

～参考になった点～

- ・自分の声を動画内に入れることで動画の幅が広がると思った。
- ・動画+手順票を組み合わせて使っているところ。
- ・動画を使用することで教員の声掛けが大幅に減った点がとても参考になった。
- ・興味のある画像が見られるということだけでも意欲を十分引き出せること。
- ・生徒の好きな画像を流しながらのカウント。
- ・教師の直接の指導でなくても、効果があるということが分かった。
- ・動画編集アプリを使った支援。
- ・好きなキャラクターなどを入れたオリジナル動画を作って活用している所。
- ・生徒が興味関心のある画像を使っていた。
- ・毎日の積み重ねが大切。
- ・iPad 動画は生徒達をひきつけますね。実証。

～私ならこう活用したい～

- ・アニメーションだけではなくいろんなアプリを試してみたい。
授業音動画でも興味を引き出せるような動画を見せていきたい。
- ・歯みがき中に立ち歩いたり、おしゃべりしたりする様子があるため、興味のある動画を1～3分のショートムービーで用意してみたい。
- ・歯みがきはできるが、カウントしてほしいアピールをする生徒に使いたい。
- ・機会があれば同じように活用したい。
- ・みんな教室で歯みがきできれば良いと思う。(廊下の水場は混雑する)